



## 6月議会報告

去る6月7日、ひたちなか市議会が招集され、6月議会の会期決定とともに議案の提案理由説明がなされました。「平成24年度財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社事業計画及び予算について」ほか21件の報告と、「平成23年東日本大震災に係る災害被害者に対する市税等の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について」ほか6件の議案がそれぞれ付議され、8日からの議案調査を経て、13日と14日にそれぞれ一般質問が行われた後、議案については各々常任委員会に付託し、審議は各委員会へと引き継がれることとなりました。これを請けて19日に各委員会が一斉に行われ、20日の本会議最終日に採決等を行って6月議会は閉会となりました。

### ■主な議決内容

#### 介護保険や市税等の減免が行われます

震災の被害者に対して介護保険や市税等の減免を平成23年度に引き続き平成24年度も実施するように関係条例を改正しました。これは減免措置に伴う減収分を国が財源補填することとなったのに伴うものです。

#### 住民基本台帳法の改正等により、関連条例を改正しました

国の住民基本台帳法の一部を改正する法律等の施行に伴い、関連する条例の所要の改正を行い、外国人の印鑑登録の取扱い等変更しました。

#### 西中根田彦線立体交差工事の委託協定を締結します

西中根田彦線のJR立体交差工事に当たって、橋台を新設するための工事協定をJR東日本との間で締結することにしました。



#### 市道路線の付け替えが行われます

新光町の市道の一部を払い下げることによって、1路線の廃止と起点終点変更により新たに2路線の認定を行うことになりました。



## 6月一般質問



子どもとお年寄りの問題は表裏一体です。お年寄りを次の世代が支える社会構造の中では、雇用を確保し、若い世代が定着してその次の世代を育てて行くという循環がなくてはなりません。また、そのことによって街のにぎわいが創出され、楽しみや生きがいや活力が生まれてきます。今回は、税と社会保障の一体改革によって変わろうとしている子ども子育ての制度について、市としてどのような考えを持っているのかについて質問しました。

### ●子ども子育て新システムを踏まえた考え方を伺う



新システムにおいては、基礎自治体の公的責任(児童福祉法24条)が後退することになるが、子どもの連続した育ちの保障や安定した質の維持ができるのか。また、負担増が予想される中で、配当を良しとする企業営利と福祉が馴染めると考えるか？



子ども達を心身ともに健やかに育成する責任は保護者とともに行政も負う。子どもや保護者、施設現場に混乱のないようにする。

株式会社やNPO等の参入にあたっては、基準を設けると共に経理区分を分けて透明性を確保したり、撤退についても後調整を課している。

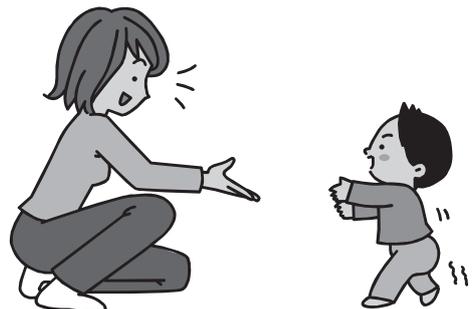
### ●子育て福祉サービスの大枠を伺う



子ども・子育て新システム含め、今後の同様なシステムの議論についても最終的には基礎自治体の福祉行政の考え方に依るところは大きい。市の福祉サービスの取組みの大枠を伺う。



「子ども・子育て支援会議」などを設置し、円滑な実施計画を策定する。保護者と施設との直接契約や施設形態・所管の複雑化等については、今後とも国の動向を注視しながら対応する。



# 活動報告



## 5月12日(土) 市政報告会 那珂湊漁村センター

市民の皆さんの付託を受けた市議会議員として、議会や市政についてお知らせするのは必要な事。議会基本条例にもこのような場の設定を盛り込むことが議会の責任だと思いますが、条例制定に先駆けて市政報告会を開催いたしました。5/12那珂湊漁村センター、5/19ひたちなか市商工会議所と、お集まり頂いた皆様にも貴重なご意見を頂きました。

## 5月21日(月) 那珂湊第三小学校除染作業の様子

空間放射線量の値が高い場所について除染作業が始まっています。この日は那珂湊第一・第三小学校と三反田小学校の除染の様子を現場確認しました。



## 6月16日(土) 史蹟等観光資源調査(勉強会)

観光は重要な収入源。訪れた方々に出来るだけ長く滞在して頂けるよう、今ある資源をどう組み合わせると付加価値を作り出すか？見せ方や周遊ルート、既存施設の活用など、様々な提案をして行きたい。そのために月1回ペースで史蹟等の勉強会を行っています。この日は馬渡埴輪公園と埋蔵文化財センターを視察し、ここにしか無い「乳飲み子抱く母親の埴輪」などを見学しました。



## 7月12日(月) 議会運営委員会の長野市行政調査

今、議会基本条例の制定について検討がなされております。その中心は「議会改革推進特別委員会」ですが、「議会運営委員会」としても、運営上の観点から他地域の情報収集を進め、協働のまちづくりの責任が果たせるものにすべきと考えております。



# コラム

～ Column ～



1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災は、死者・行方不明者6437人、4万人を超える負傷者と24万棟にも上る家屋が被災全半壊となる甚大な被害をもたらしました。あれから17年。街はずいぶんときれいになりましたが、復興は未だ途上だと言います。犠牲者には高齢者や要援護の方々が大変多く、安全安心なまちづくりは、ハードはもちろんのこと、どの様にソフトを作り上げるかも重要であることが判ります。この度の東日本大震災の復興にあたっては、議会に特別委員会を設置して、神戸や明石市などの復興過程を調査しています。

写真は神戸市役所前の公園にある‘マリーナ像’。時計は震災のあったその時刻5時46分で止まったままになっており、震災の記憶の語り部となっている。

## 議会日程



# 9月

- 5日 本会議（開会）
- 12・13日 一般質問
- 18日 予算委員会
- 19日 常任委員会
- 20・21・24・25・26日 決算委員会
- 27日 本会議（閉会）

※詳細は議会事務局にご確認ください。

◎市政相談は、ふるさと21 大谷たかしまでご連絡ください。

〈決算委員会副委員長・議会運営委員会委員・文教福祉委員会委員〉

〒312-0025 茨城県ひたちなか市武田885-2 TEL・FAX 029-271-1732

<http://www.ohtani-takashi.com>